

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月22日 (2008.5.22)

【公表番号】特表2003-529608(P2003-529608A)

【公表日】平成15年10月7日 (2003.10.7)

【出願番号】特願2001-572544(P2001-572544)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 0 7 K 14/535 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 5/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 19/00 Z N A

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 39/385

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 14/535

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日 (2008.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポリペプチドもしくはタンパク質の抗原配列成分と H E R - 2 タンパク質の細胞内ドメイン由来の配列成分とを含む、免疫刺激融合タンパク質であって、

ここで、該免疫刺激融合タンパク質は、該融合タンパク質の該ポリペプチドもしくはタンパク質の抗原配列成分に対する細胞性免疫応答を誘発するのに有効である、免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 2】 前記 H E R - 2 細胞内ドメインの配列成分が、配列番号 25 として示

される配列を有する、請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 3】 前記ポリペプチドまたはタンパク質の成分が、腫瘍細胞と関連する、請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 4】 前記融合タンパク質が、連続的な核酸コード配列の翻訳によって産生される、請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 5】 前記融合タンパク質が、化学カップリングによって産生される、請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 6】 請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質であって、

ここで、前記ポリペプチドまたはタンパク質の成分が、配列番号 2 3 として示される成熟 H E R - 2 膜遠位細胞外ドメイン配列である、免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 7】 請求項 6 に記載の免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質であって、

ここで、該 H E R - 2 融合タンパク質が、H E R 5 0 0 (配列番号 1)、H E R 5 0 0 ・ h G M - C S F (配列番号 2)、H E R 5 0 0 * (配列番号 3) および H E R * ・ r G M - C S F (配列番号 4) からなる群から選択される、免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質。

【請求項 8】 前記融合タンパク質が H E R 5 0 0 ・ h G M - C S F (配列番号 2) である、請求項 7 に記載の免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質。

【請求項 9】 前記細胞性免疫応答が、樹状細胞誘導性 T 細胞媒介免疫応答である、請求項 1 に記載の免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質。

【請求項 10】 免疫刺激融合タンパク質組成物であって、

請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質へのインビトロでの曝露により超活性化された、樹状細胞を含む、免疫刺激融合タンパク質。

【請求項 11】 請求項 1 に記載の免疫刺激融合タンパク質

をさらに含む、請求項 10 に記載の免疫刺激融合タンパク質組成物。

【請求項 12】 樹状細胞 (D C) または樹状細胞前駆体 (D C P) から超活性化 D C を産生するための組成物であって、

ポリペプチドもしくはタンパク質の抗原配列成分と H E R - 2 タンパク質の細胞内ドメイン由来の配列成分とを含む、免疫刺激融合タンパク質を含む、組成物。

【請求項 13】 前記樹状細胞 (D C) または樹状細胞前駆体 (D C P) にインビトロで曝露するための、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】 前記樹状細胞 (D C) または樹状細胞前駆体 (D C P) にインビボで曝露するための、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 15】 特定の抗原と関連する癌を処置するための組成物であって、

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質を含む、組成物。

【請求項 16】 特定の抗原と関連する癌を処置するための組成物であって、

請求項 12 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の超活性化 D C を含む、組成物。

【請求項 17】 特定の抗原と関連する癌を処置するための医薬の製造における、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の免疫刺激 H E R 2 融合タンパク質の使用。

【請求項 18】 特定の抗原と関連する癌を処置するための医薬の製造における、請求項 12 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の超活性化 D C の使用。